

採用窓口

採用窓口職業安定局総務課人事給与係 03-5253-1111(内線5714)

採用実績

入省年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	女性	男性										
人数	2人	3人	2人	3人	3人	2人	1人	3人	2人	1人	4人	2人

(注:令和7年度は内定者数)

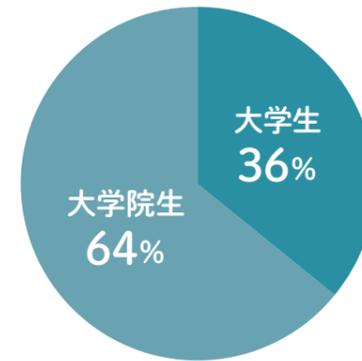
採用スケジュール

令和8年度採用予定者を対象とした、業務説明会や採用手続きのスケジュールは、人事院の「[国家公務員試験採用情報NAVI](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html)」(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)や、厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html)に掲載されますのでご覧ください。

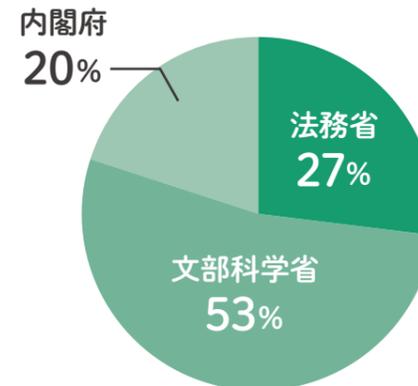
前回(令和7年度入省者対象)の実績は下記のとおり。
※令和8年度採用予定者を対象とした採用スケジュールは、前回と異なる場合があります。



Q1 入省前は何をしていましたか？



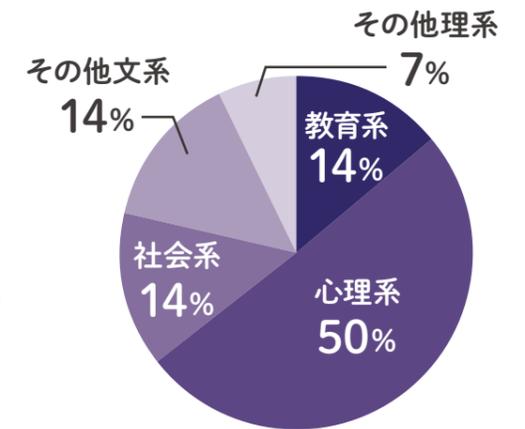
Q3 官庁訪問で訪問した省庁はどこですか？(複数選択可)



Q5 仕事をしていた、どんなときにやりがいを感じますか？

- 政策がどういった過程を経て国民の生活に還元されるのか、自身が業務を行いながらプロセスを知ることができる点が非常にやりがいを感じます。
- 制度の立案をしているときです。現場での運用まで見据えた上で考え、部署の皆と意見を出し合っている際にやりがいを感じます。
- 自身が関わっていた作成した資料が公表されたときや自身が関わっていたことがニュースになっていた時など。
- 係内で考えたことが実際に現場で運用され、求職者に届いている時。
- 震災対応など、困っている方の助けにつながる業務に携わっているとき。

Q2 大学(大学院)の専攻は何ですか？



※四捨五入の関係で、各項目の割合の和が100%とならない場合があります。

Q4 入省前とのギャップはありますか？

ワークライフバランス

- 思っていたよりも労働時間が短く有給休暇も取得しやすかったこと。
- よく「厚労省は不夜城だ」などとメディアで言われることも多いので、プライベートを犠牲にして働くような職場かと思っていましたが、マンスリー休暇等の制度も充実しており、プライベートも大切にできたこと。

仕事の進め方

- 古い慣行がもっと多いと思っていましたが、チャットでコミュニケーションをとれることや、テレワークが実施できること、生成AIも一部活用できるなど進んでいる部分もあったこと。
- 入省前は個人で黙々と業務をこなすようなイメージを持っていましたが、想像以上に調整業務が多く、様々な人と協力しながら仕事を進めていく必要があったこと。

職場の雰囲気

入省前は、公務員という堅い雰囲気をイメージしていましたが、実際は気さくな方が多く、話しやすい雰囲気です。

